

令和4年度 学校教育自己診断結果（教職員） n = 59

質問	肯定%	■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない □ わからない	R3年度	比較
1 教職員は、学校の教育活動について、日常的に話し合っている。	91.5%	全体 42% 49% 8%	80.6%	10.9
2 貝塚高校の教育活動には、他の学校にない特色がある。	100.0%	全体 64% 36% 0%	97.2%	2.8
3 教職員は、学校教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	76.3%	全体 25% 51% 22%	63.9%	12.4
4 各教科は、教材の精選・工夫を行っている。	96.6%	全体 31% 66% 3%	80.6%	16.0
5 教職員は、学習指導の方法や内容について、他の教科の担当者と話合う機会がある。	67.2%	全体 22% 45% 31%	47.2%	20.0
6 教員がICT機器を活用している授業が多い。	89.7%	全体 47% 43% 10%	91.7%	-2.0
7 生徒がICT機器を使用している授業が多い。	72.4%	全体 17% 55% 28%	58.3%	14.1
8 教職員は、生徒の意見をよく聞いている。	93.1%	全体 40% 53% 7%	86.1%	7.0
9 学校は、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	89.5%	全体 25% 65% 11%	72.2%	17.3
10 生徒による問題行動が起こったとき、組織的に対応できる体制が整っている。	77.2%	全体 28% 49% 23%	66.7%	10.5
11 教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員とも相談することができる。	78.9%	全体 30% 49% 19%	63.9%	15.0
12 学校は、生徒指導面で、家庭への連絡や意志疎通を積極的に、きめ細かく行っている。	94.7%	全体 54% 40% 5%	86.1%	8.6
13 学校は、進路指導面で、家庭への連絡や意志疎通を積極的に、きめ細かく行っている。	91.2%	全体 42% 49% 9%	77.8%	13.4
14 学校は、生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	86.0%	全体 40% 46% 12%	80.6%	5.4
15 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	89.8%	全体 47% 42% 10%	91.7%	-1.9
16 教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	72.4%	全体 33% 40% 24% 3%	77.8%	-5.4
17 職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意志疎通や意見交換の場として有効に機能している。	66.1%	全体 10% 56% 27% 7%	47.2%	18.9
18 日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。	69.5%	全体 24% 46% 29%	72.2%	-2.7
19 校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	71.2%	全体 15% 56% 24% 5%	61.1%	10.1
20 学校は、教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	79.7%	全体 25% 54% 20%	66.7%	13.0
21 学校は、仕事のICT化を進める、時間外勤務を減らす等、働き方改革に取り組んでいる。	55.9%	全体 24% 32% 36% 8%	今年度新設のため比較なし	
22 学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている。	84.7%	全体 24% 61% 12% 3%	今年度新設のため比較なし	